

町の考え方を問う

一

般

質

問

9月定例会では福祉問題・観光問題など、町政全般へ9人18項目にわたり質問しました。

一般質問ではこのほか次の事項も質問しました。(順不同)

秋の渋滞対策について

景観条例制定の経過と今後について

箱根町の行政対象暴力対策について

町立幼稚園、小・中学校にAED設置について

観光立町における観光(施設)行政について

観光経営と財政再建について

湯本山崎集会所前の湯4号線拡幅工事の進捗状況について

防災対策と火山学習センター建設について

中央地域幼児学園について

健康福祉 幼児学園及び認定こども園について

Q 次の4点について伺う。 1 平成15年に開園した仙石原幼児学園の

A 1点目については、まず、現在までの運営状況については、保育園

現在までの運営状況及び成果と新しく幼児学園の開園にあたり、留意する点について、また、平成19年4月1日より「認定こども園」として認定されたが、その内容について 2 平成21年4月に開園予定の湯本幼児学園の進捗状況について 3 中央幼児学園の設置位置と開園予定時期について 4 箱根幼稚園の現状と幼児学園を含む今後の形態について

児の保育を午前7時30分から午後6時30分まで実施し、幼稚園児は午後2時までであるが、保護者の都合により午後4時30分までの預かり保育を有料で実施するとともに、休日保育や一時保育にも対応している。 また、成果としては、幼保合同保育を実施するにあたり、職員は保育園・幼稚園の併任として、同様の研修を受けるなど、職員間の連携を良好に図り、保育環境の向上に成果を上げている。



仙石原幼児学園

次に、新幼児学園の開園にあたり、留意していく点であるが、今までの保育形態と違う保育が加わり、就労の有無など生活のリズムや園に対する意識が違う保護者が一緒になつて、園の行事や保護者会などを運営していくので、この二者の融合に留意をしたい。 次に、認定こども園の認定内容であるが、認定の条件として、「就学前の子どもに対する教育及び保育を提供する機能を備えていること」「地域における子育て支援を行う機能が求められていること」が、仙石原幼児学園では、この機能を十分に備えていることから、認定をされたものである。

2点目について、本年度の湯本幼児学園建設事業の内容は、①地形測量②地質調査③基本設計及び実施設計であり、これらの事業は4月に入札を行い、測量委託を(株)アーバン測量が、基本・実施設計及び地質調査を(株)政所設計が落札し、地形測量は完了している。 3点目について、温泉地域から提出された「温泉小学校跡に中央幼児学園開設」の陳情に対する議会の採択については、大変重いものと受け止めており、財政状況などを見ながら開設時期を含めた町の考え方について方向性を示し、地域の方々のご理解を得ながら、決定をしていきたい。 4点目として、現在、箱根幼稚園には6名のお子さん方が在籍しており、内訳は5歳児が4名、4歳児が2名という状況であり、箱根地域には、3・4・5歳児が全部で18名いるが、就園状況を見ると、箱根幼稚園が6名、宮城野保育園に8名、仙石原幼児学園に3名、未就園児が1名となっていることから、箱根地域に保育園のニーズがあるので、今後、預かり保育の時間延長など、保育園の要素を取り入れた幼稚園として運営をしていきたいと考えている。